

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会 議 の 名 称	市民会議（第 13 回市民福祉分科会）
開 催 日 時	平成 18 年 10 月 24 日（火）午後 6 時 30 分から 8 時 40 分
開 催 場 所	宇都宮市役所 会議室
出 席 者	（市民委員）梅林孟副会長，新由美子委員，上野茂委員，江連京子委員， 大堀導子委員，千保喜久夫委員，矢田部一郎委員 （欠席：伊達悦子会長） （市事務局）
会 議 内 容	・施策，事業の検討
会 議 資 料	1. 合同会議議事録
発言者	発言内容
進行	それではこれから第 13 回分科会を行います。 （出欠確認） 本日は前回の市役所との合同会議を受けて，施策・事業をブラッシュアップしたいと思います。
各市民委員	まず提案会に向けた準備ですが，次回の分科会はなしにして，今日の議論を受けて修正した資料を作り，それを確認するということにしたいと思います。
進行	それでは，改善したいポイントについて議論しましょう。
市民委員	ケアネットワークについては，継続的なものとなる文言を入れたほうがよいと思います。
市民委員	心のバリアについては，障害者と継続的に交流することが重要です。また，市営住宅の整備などを通じて，障害者が施設外で住めるようにする支援が必要だと思います。
市民委員	窓口の集約化については，専門性のある人が担当者として窓口にいることが必要だと思います。
市民委員	子どもの居場所づくりについては，中高生や大学生などの参加を促すことも書いてはどうでしょうか。

市民委員	居場所では誰かがきちんと責任を持てる体制にしないといけません。ファミリーサポートセンターなどとも連携できると、責任のある大人が居場所にいられるようになります。
各市民委員	宇都宮でも待機児童をゼロにするくらいの取り組みが必要です。事業者内保育所の設置支援について、もっと提案してはどうでしょうか。
進行	それでは以上で第 13 回の市民会議市民福祉分科会を終了します。 ありがとうございました。 以上